

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和6年10月】

■調査概要（データ対象期間：令和6年10月1日～10月31日）

○調査期間：令和6年10月31日～令和6年11月20日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査及び全会員対象のWeb景気動向調査アンケート

○回収状況：建設業14企業、製造業19企業、卸売業11企業、小売業19企業
飲食業13企業、サービス業34企業（運輸、不動産仲介業を含む）
<合計110企業>

○調査項目：10月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価
状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

○判断の基準

	好調	やや好調	横ばい	やや低調	低調
DI値	DI ≥ 20	20 > DI > 5	5 ≥ DI ≥ ▲5	▲5 > DI > ▲20	▲20 ≥ DI

1. 業況判断

- 全産業合計の業況DI(前年同月比ベース)はやや低調
前月(やや低調)から好転(▲13.1→▲10.0)
- 全産業合計の水準DIはやや低調
前月(やや低調)から好転(▲16.8→▲15.4)

	建設業	製造業	卸売業	小売業	飲食業	サービス業
業況DI	低調	やや低調	やや好調	低調	やや低調	横ばい
水準DI	低調	やや低調	横ばい	低調	横ばい	やや低調

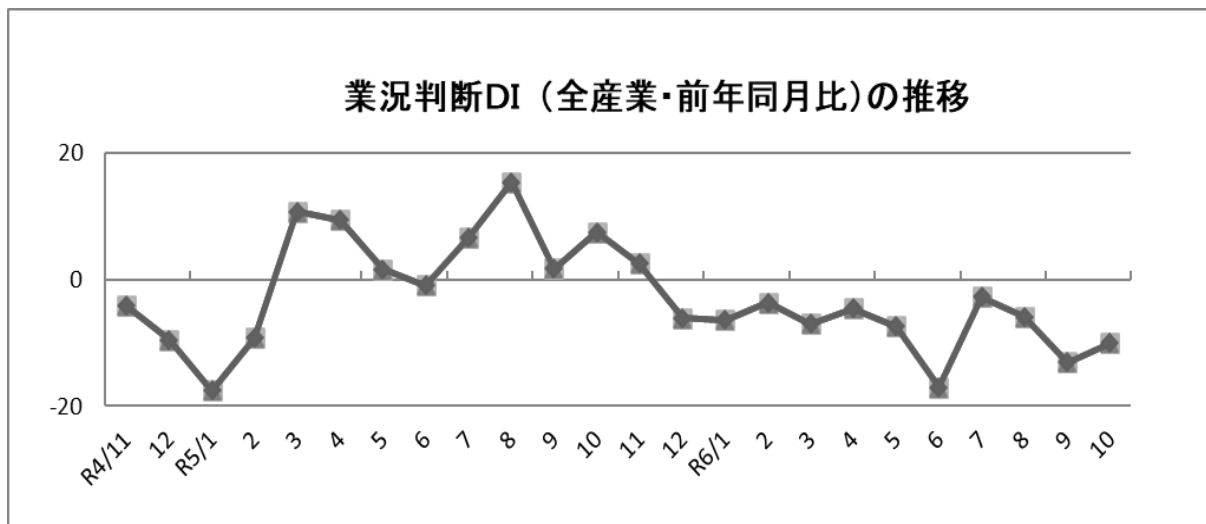
	業況[前年同月比]					今月の水準				
	好転%	不変%	悪化%	DI	前月との差	良い%	普通%	悪い%	DI	前月との差
合計	15.5 (14.0)	59.0 (58.9)	25.5 (27.1)	▲10.0 (▲13.1)	3.1	16.4 (13.1)	51.8 (57.0)	31.8 (29.9)	▲15.4 (▲16.8)	1.4
建設業	7.1 (5.6)	57.2 (61.1)	35.7 (33.3)	▲28.6 (▲27.7)	▲0.9	7.1 (5.6)	50.0 (55.5)	42.9 (38.9)	▲35.8 (▲33.3)	▲2.5
製造業	10.5 (13.3)	63.2 (66.7)	26.3 (20.0)	▲15.8 (▲6.7)	▲9.1	21.1 (13.3)	42.1 (73.4)	36.8 (13.3)	▲15.7 (0.0)	▲15.7
卸売業	27.3 (15.4)	63.6 (46.1)	9.1 (38.5)	18.2 (▲23.1)	41.3	18.2 (0.0)	63.6 (53.8)	18.2 (46.2)	0.0 (▲46.2)	46.2
小売業	10.5 (20.0)	52.7 (50.0)	36.8 (30.0)	▲26.3 (▲10.0)	▲16.3	10.5 (25.0)	52.7 (50.0)	36.8 (25.0)	▲26.3 (0.0)	▲26.3
飲食業	15.4 (22.2)	61.5 (44.5)	23.1 (33.3)	▲7.7 (▲11.1)	3.4	23.1 (22.2)	53.8 (44.5)	23.1 (33.3)	0.0 (▲11.1)	11.1
サービス業	20.6 (12.5)	58.8 (68.7)	20.6 (18.8)	0.0 (▲6.3)	6.3	17.6 (12.5)	53.0 (59.4)	29.4 (28.1)	▲11.8 (▲15.6)	3.8

※緑色の部分が前年同月と比較し増加した業種となります。

()内は前月データ

「業況[前年同月比]」…前年同月の業況との比較による回答の集計

「今月の水準」…事業主の方の主観による回答の集計



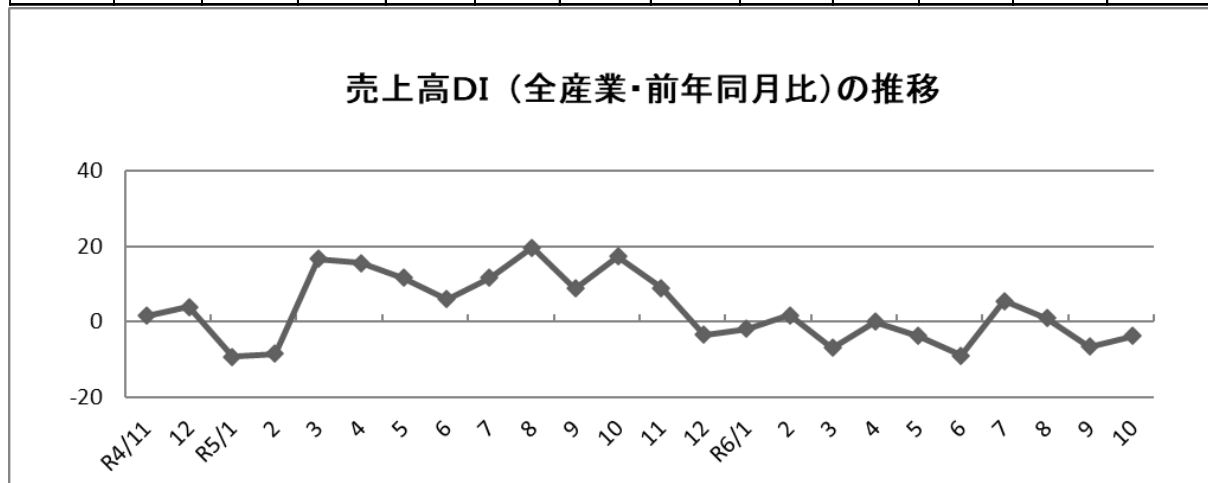
2. 売上高

- 全産業合計の売上高DIは、横ばい。
前月(やや低調)から好転(▲6.5→▲3.7)

業種ごとの売上高DI(前年同月比ベース)					
建設業	製造業	卸売業	小売業	飲食業	サービス業
低調	やや好調	やや好調	低調	やや好調	横ばい

【対前年同月比全産業合計売上高DIの推移】

R5年10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
17.3	9.0	▲3.5	▲1.8	1.8	▲6.9	0.0	▲3.7	▲8.9	5.5	1.0	▲6.5	▲3.7



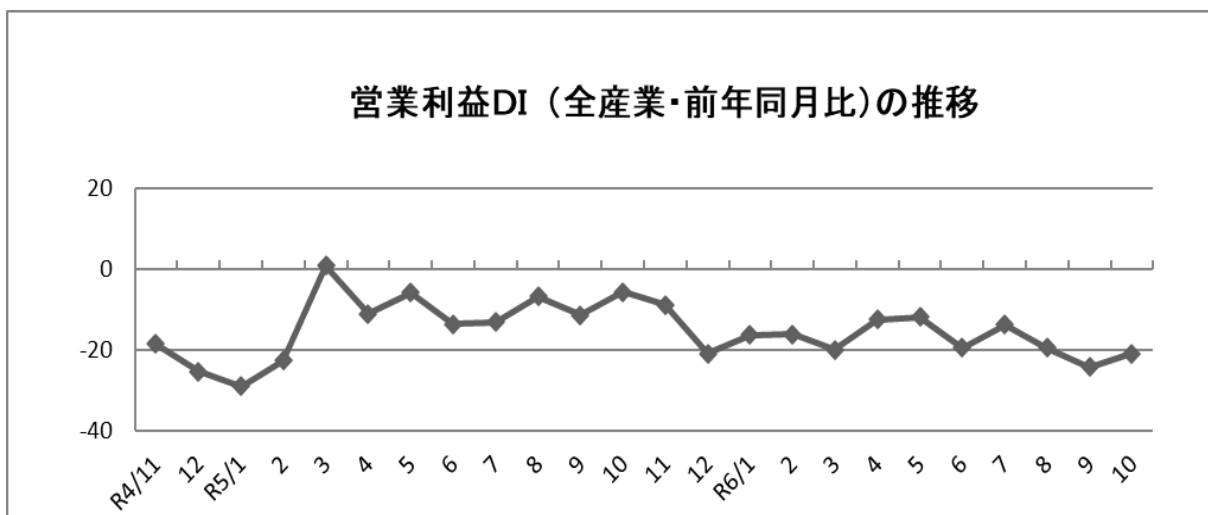
3. 営業利益

- 全産業合計の営業利益DIは低調。
前月(低調)から変化なし(▲24.3→▲21.0)

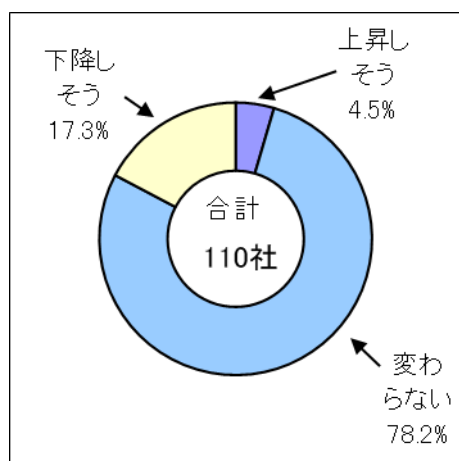
業種ごとの営業利益DI(前年同月比ベース)					
建設業	製造業	卸売業	小売業	飲食業	サービス業
低調	やや低調	やや好調	低調	低調	やや低調

【対前年同月比全産業営業利益DIの推移】

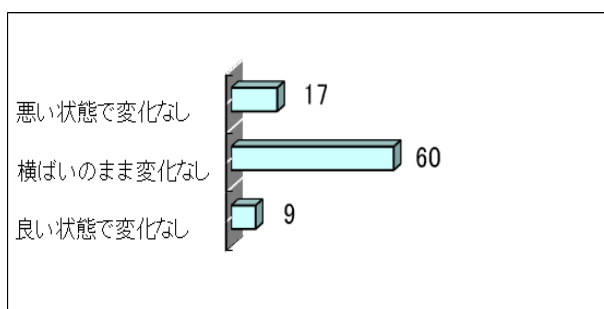
R5年10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
▲5.8	▲8.9	▲20.9	▲16.4	▲16.2	▲20.0	▲12.6	▲11.9	▲19.6	▲13.9	▲19.6	▲24.3	▲21.0



◇ 向こう3カ月の見通し ◇



◆ 『変わらない』の内訳 ◆



令和6年11月～令和7年1月の見通しDIは、
「上昇しそう」が減り(10.3%→4.5%)、「下降しそう」は増えた。(7.5%→17.3%)

業種ごとの見通しDI					
建設業	製造業	卸売業	小売業	飲食業	サービス業
やや低調	低調	横ばい	低調	横ばい	やや低調

今後3ヶ月の見通しに対する各業種のコメント

【建設業】

「下降しそう」 全国的に新規物件量が減少しているため

【製造業】

「上昇しそう」 年内は繁忙期のため
業界的に繁忙期になるため

「下降しそう」 在庫減のため
閑散期による受注減少のため
営業人数不足のため
特需が重なり10月が良過ぎたため
季節的要因のため

【卸売業】

「下降しそう」 受注残高が少ないため

【小売業】

「下降しそう」 観光客の減少により店舗での売上、ホテル等への卸しの売上が減少するため
消費者の購買意欲が低い
冬になり客足が減るため

【飲食業】

「上昇しそう」 秋の観光シーズンと忘年会のため

【サービス業】

「下降しそう」 寒くなるため
政権与党の過半数割れのため
スキー場営業できることがわかったのが遅れ、予約済みのお客様をキャンセルせざるを得なかったため
職業訓練受講者数が減少しているため
閑散期、休館日があるため

業種別景況

1. 建設業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3ヵ月の見通し
低調	低調	やや低調	低調	やや低調
前月比 0.9減少	前月比 15.2減少	前月比 8.8減少	前月比 2.5減少	前月比 14.3減少

【項目別DIの推移】

	R5年10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高	▲ 5.9	0.0	▲ 5.3	▲ 11.7	▲ 13.3	▲ 22.2	▲ 21.0	▲ 25.0	▲ 38.8	▲ 25.0	▲ 29.4	▲ 27.7	▲ 28.6
受注量	▲ 5.8	▲ 5.0	▲ 5.2	▲ 11.7	▲ 26.6	▲ 16.6	▲ 21.1	▲ 30.0	▲ 27.7	▲ 25.0	▲ 41.2	▲ 27.7	▲ 42.9
受注単価	5.9	5.0	5.3	5.9	0.0	0.0	0.0	5.0	▲ 5.6	▲ 6.2	▲ 17.6	▲ 5.5	▲ 14.3
営業利益	▲ 17.6	▲ 5.0	▲ 15.8	▲ 23.5	▲ 13.3	▲ 22.2	▲ 21.0	▲ 30.0	▲ 50.0	▲ 43.8	▲ 41.2	▲ 33.3	▲ 35.8
見通し	0.0	0.0	▲ 10.5	▲ 5.9	▲ 13.3	▲ 11.1	0.0	15.0	5.5	▲ 12.5	▲ 11.8	0.0	▲ 14.3

<経営者の目・見方・etc>

鉄工

・全国的に新規物件量が減少しており、製作単価が地域により大幅下落し始めている。来年は仕事量、価格ともに落ち込むのではないかと相場勘が一般的である。

総合建設

・衆議院選挙の結果、与党が大敗し、今後の政局によっては経営環境が大きく左右されることを心配している。

土木工事

・中小企業の倒産件数が30ヵ月連続で前年同月を上回っているとのこと。不景気なのに物価上昇で、日本はスタグフレーションの真っ只中なのではないか。

2. 製造業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3ヵ月の見通し
やや好調	やや低調	好調	やや低調	低調
前月比 23.9増加	前月比 15.7減少	前月比 18.2増加	前月比 2.3減少	前月比 34.4減少

【項目別DIの推移】

	R5年10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高	11.1	5.9	▲ 23.5	11.8	6.2	▲ 31.5	▲ 5.9	5.0	▲ 22.2	38.9	▲ 18.7	▲ 13.4	10.5
受注量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 31.6	▲ 23.5	▲ 5.0	▲ 11.1	27.8	▲ 25.0	0.0	▲ 15.7
受注単価	16.7	0.0	0.0	23.5	12.5	▲ 10.5	11.7	15.0	11.1	33.3	6.3	13.3	31.5
営業利益	▲ 27.7	▲ 29.5	▲ 35.3	▲ 5.9	▲ 25.0	▲ 57.9	▲ 35.3	0.0	▲ 16.6	5.5	▲ 18.7	▲ 13.4	▲ 15.7
見通し	16.6	▲ 5.8	▲ 17.6	23.5	6.3	0.0	0.0	0.0	11.1	▲ 16.7	0.0	13.3	▲ 21.1

<経営者の目・見方・etc>

印刷

・長野方面からの同業他社の下請け営業が来るようになった。今までは競合他社として営業ではなく入札で競争することの方が多かったのではないかと思われるが、適正価格維持のため、信頼関係を構築し、適正価格による契約で委託業務を受注した企業から仕事を受ける方が賢明だと判断したのだろうか。業者によっては依然として、デフレ営業を続けている企業も長野市内ではあると聞く。円安、物資高騰が続く中でのデフレ営業は業界ごと破綻するリスクがある。

精密機器組立

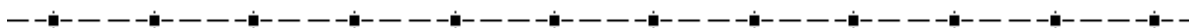
・業界内では軒並み仕事が減っていて良い話は聞かない。最低賃金アップ、社会保険適用拡大、製造コストの上昇など経営は益々厳しさが増している。

金属塗装

・日経等で発表している大企業の賞与支給額でなく、上場していない中小企業の支給額の統計を調査してほしい。

小型情報機器組立

・今後心配することが多い。



3. 卸売業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヵ月の見通し
やや好調	横ばい	やや低調	やや好調	横ばい
前月比 16.8増加	前月比 15.4増加	前月比 6.3増加	前月比 55.2増加	前月比 変化なし

【項目別DIの推移】

	R5年10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高	▲ 9.1	0.0	21.5	▲ 15.4	0.0	▲ 7.7	▲ 15.4	▲ 6.7	▲ 38.5	23.1	0.0	▲ 7.7	9.1
販売客数	▲ 27.3	▲ 16.7	▲ 7.1	▲ 7.7	▲ 7.7	0.0	▲ 15.4	6.6	▲ 30.8	15.4	0.0	▲ 15.4	0.0
販売客単価	18.2	0.0	14.3	▲ 7.7	0.0	0.0	0.0	20.0	▲ 7.7	15.4	▲ 10.0	▲ 15.4	▲ 9.1
営業利益	▲ 27.2	▲ 25.0	▲ 7.1	▲ 23.1	▲ 23.1	▲ 7.7	▲ 7.7	0.0	▲ 46.2	▲ 15.4	▲ 40.0	▲ 46.1	9.1
見通し	▲ 18.2	0.0	▲ 7.2	▲ 23.1	0.0	▲ 7.7	15.4	0.0	▲ 30.8	▲ 23.1	0.0	0.0	0.0

<経営者の目・見方・etc>

- 魚介類
 - ・新規飲食店のオープンが多い気がする。忘年会、新年会需要に期待する。
- 自転車
 - ・松本市で行っている65歳以上の方への自転車用ヘルメットの補助金で来客があった。
- 土産品
 - ・三連休もあり、たくさんのお客様が観光地やテーマパーク等に訪れ、忙しさが継続している。シャインマスカット関連商品が良く売れている。
- 金属製品
 - ・電炉メーカーの値下げ発表後の混乱はないが、流通は物量薄く弱気な状況が続いている。依然どの業種も先行きの不透明感が漂ったままである。
- 製菓材料卸売
 - ・輸入原材料の値上げが全く止まらない。
- 木材・建材
 - ・2025年春の採用状況は？ 予定数を確保できているか、また、2026年春採用動向は？

4. 小売業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヵ月の見通し
低調	低調	やや低調	低調	低調
前月比 26.0減少	前月比 27.1減少	前月比 20.5減少	前月比 11.8減少	前月比 16.3減少

【項目別DIの推移】

	R5年10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高	14.3	▲ 16.7	10.6	0.0	9.1	19.1	6.6	▲ 16.0	18.8	▲ 6.2	6.6	5.0	▲ 21.0
販売客数	9.6	▲ 5.6	0.0	5.5	9.1	0.0	0.0	▲ 16.0	6.2	▲ 18.7	▲ 6.6	▲ 15.0	▲ 42.1
販売客単価	▲ 14.3	▲ 5.6	0.0	▲ 5.6	9.1	19.1	20.0	▲ 12.0	12.5	▲ 6.2	▲ 6.6	10.0	▲ 10.5
営業利益	▲ 14.3	▲ 22.2	▲ 15.8	▲ 22.2	▲ 18.2	▲ 19.0	6.7	▲ 24.0	0.0	▲ 31.2	0.0	▲ 25.0	▲ 36.8
見通し	▲ 19.0	▲ 5.6	▲ 21.1	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 12.5	▲ 13.3	▲ 10.0	▲ 26.3

<経営者の目・見方・etc>

洋菓子店

・菓子業界に限らずどの業種でも人手不足という声をよく聞く。他業種の方たちは、機械化、DX化以外にどんな対策をしているのか聞きたい。

・今後、卵やいちごの高騰が続くかどうか心配である。

印章

・外国人観光客が依然として多い。彼らは数週間から1ヶ月程度日本に滞在しているので日本中を見て回ってきているし、日本には何度も来ている方も多い。松本独自の観光名所やグルメ、施設などがなければ今以上の観光客は来なくなってしまふ。今まで以上にサービスやおもてなしを重視していかなければならないと思っている。

印章・刃物研ぎ

・海外からの観光客が順調に続いて、来松者も多く見受けられた。

化粧品

・季節の変化のない年で、夏が続き過ぎ秋から冬の商品が売れない。

生鮮食品

・先月までは郊外に人が動いたが、今月は観光客が多いのか市内の方が多かった。

5. 飲食業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヵ月の見通し
やや好調	やや好調	やや好調	低調	横ばい
前月比 7.7増加	前月比 18.8増加	前月比 14.5減少	前月比 31.6減少	前月比 11.1減少

【項目別DIの推移】

	R5年10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高	64.3	50.0	0.0	7.7	0.0	▲ 33.3	0.0	0.0	33.3	16.7	45.4	0.0	7.7
販売客数	50.0	20.0	15.4	7.7	8.4	▲ 25.0	0.0	▲ 6.2	16.7	25.0	45.4	▲ 11.1	7.7
販売客単価	28.6	10.0	7.7	0.0	0.0	25.0	7.7	6.3	16.6	16.7	18.2	22.2	7.7
営業利益	14.3	▲ 10.0	▲ 53.8	▲ 15.4	▲ 16.7	▲ 41.6	▲ 15.4	▲ 37.5	▲ 8.3	▲ 8.4	0.0	▲ 22.2	▲ 53.8
見通し	14.3	0.0	▲ 7.7	7.7	33.3	16.7	7.7	25.0	25.0	16.7	9.1	11.1	0.0

<経営者の目・見方・etc>

寿司

・「おそばも良いけどお寿司もね」昔どこかで聞いたようなフレーズであるが、連休中のそば祭りは好天に恵まれて最高の賑わいであった。当店でも家族連れ、外国人客等、大勢のお客様が来店し忙しい10月であった。ただ、食材の値上がりはとどまることを知らない。

中華料理

・我が社でも月に二度ほど連休をとるようになった。当然のことながら従業員は喜んでいて、店の雰囲気もあがっている。

郷土料理

・外国人のお客様は増えているが、国内のお客様の数は増えていない。忙しい割には売上が伸びない。

食堂

・毎月ごとに食品の値上げが続き、特にお米の倍の値上げは痛い。かと言ってメニューの値上げはできない。この景気を何とかしてほしい。

冷凍生そば販売業

・新そばが出始めた。美味しいそばを販売していきたい。

6. サービス業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヵ月の見通し
横ばい	横ばい	やや好調	やや低調	やや低調
前月比 変化なし	前月比 3.4増加	前月比 11.6増加	前月比 9.7増加	前月比 15.2減少

【項目別DIの推移】

	R5年10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高	22.5	20.0	▲ 12.1	▲ 3.1	3.0	9.4	17.7	10.5	▲ 2.9	▲ 3.0	9.1	0.0	0.0
販売客数	12.5	8.6	▲ 18.1	▲ 3.2	9.1	12.5	14.7	10.5	0.0	▲ 6.0	▲ 3.0	▲ 6.3	▲ 2.9
販売客単価	27.5	11.4	▲ 3.1	0.0	6.0	18.8	17.6	23.6	5.7	24.3	21.2	3.1	14.7
営業利益	12.5	11.4	▲ 12.1	▲ 12.5	▲ 9.1	6.3	▲ 5.9	5.3	▲ 8.6	▲ 3.0	▲ 18.2	▲ 15.6	▲ 5.9
見通し	2.5	0.0	▲ 6.1	▲ 6.3	9.1	9.3	3.0	13.2	8.5	9.1	0.0	6.3	▲ 8.9

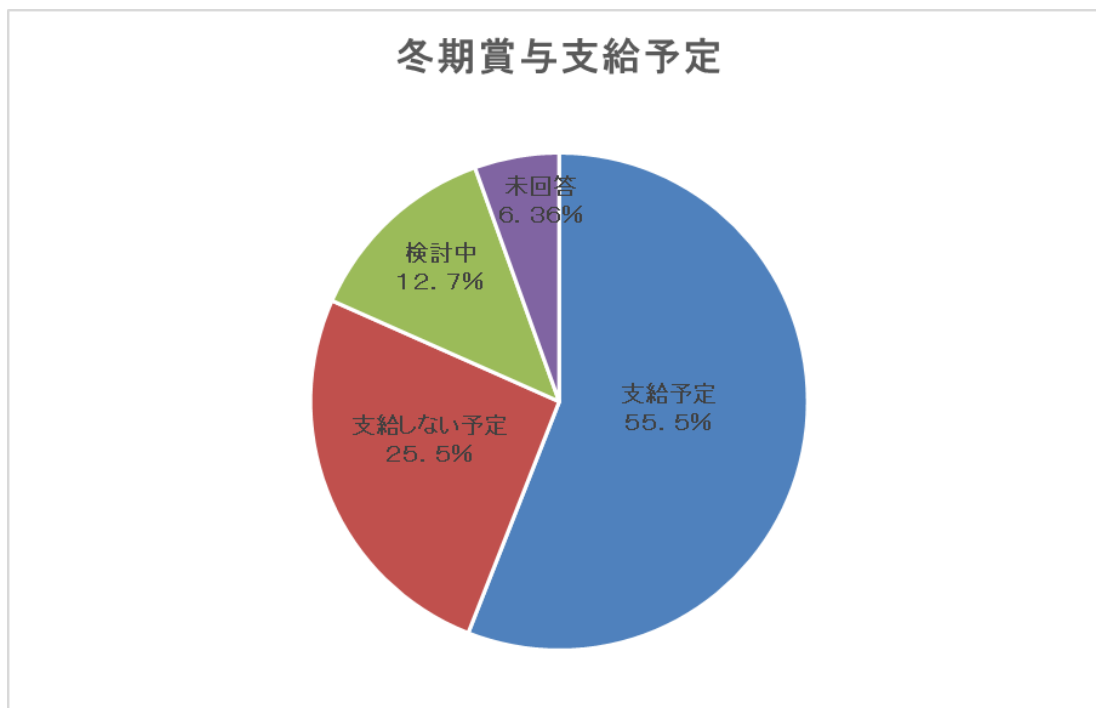
<経営者の目・見方・etc>

観光旅館	<ul style="list-style-type: none"> ・比較的好天に恵まれ、相変わらずインバウンドの日帰り観光バスも多く入込は増えた。観光バス規制を行っていないため、駐車場待ちのバスの列ができた。一方、気温が異常に高い日が続き、紅葉が遅れてしまい、高い山にも雪が降らず、雪を見に来た東南アジアのお客様には残念な結果となった。10月後半はやたらと捨てられたゴミが多くなり、客層が変わったのかと思われた。
温泉旅館	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンドをはじめ、日本国内の宿泊も最多であるが、公共料金と材料の値上げが問題である。冬期に入ってから動きが心配である。
ホテル	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊、会議、宴会、レストラン等全て良好であった。特に宿泊はコロナ禍前より客室数が増えているが、インバウンドの増加により各施設とも収入が増えている。
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス環境のスピードに合わせ案件自体は堅調に推移していると思われる。様々なツールの利用により、在宅、出社を組み合わせ作業することにも一定の理解を得られている。ただ、若手技術者には積極的にエンドユーザーに向き合うことを進めている。対人スキルはこうした仕事の中でしか学べない。
美容	<ul style="list-style-type: none"> ・物価高の時代に合わせて美容室のメニューも値上げを考えてやっていかないといけなくなっている。
機械設計 ホームクリーニング・ リネンサプライ業	<ul style="list-style-type: none"> ・今年中はテーマがなく、特に中信地域は厳しい。 ・業界的にはホテルリネン売上げが一服感がある。

7. 任意調査

【問1】

冬期賞与の支給予定について該当するものを選択してください。(回答:110社)

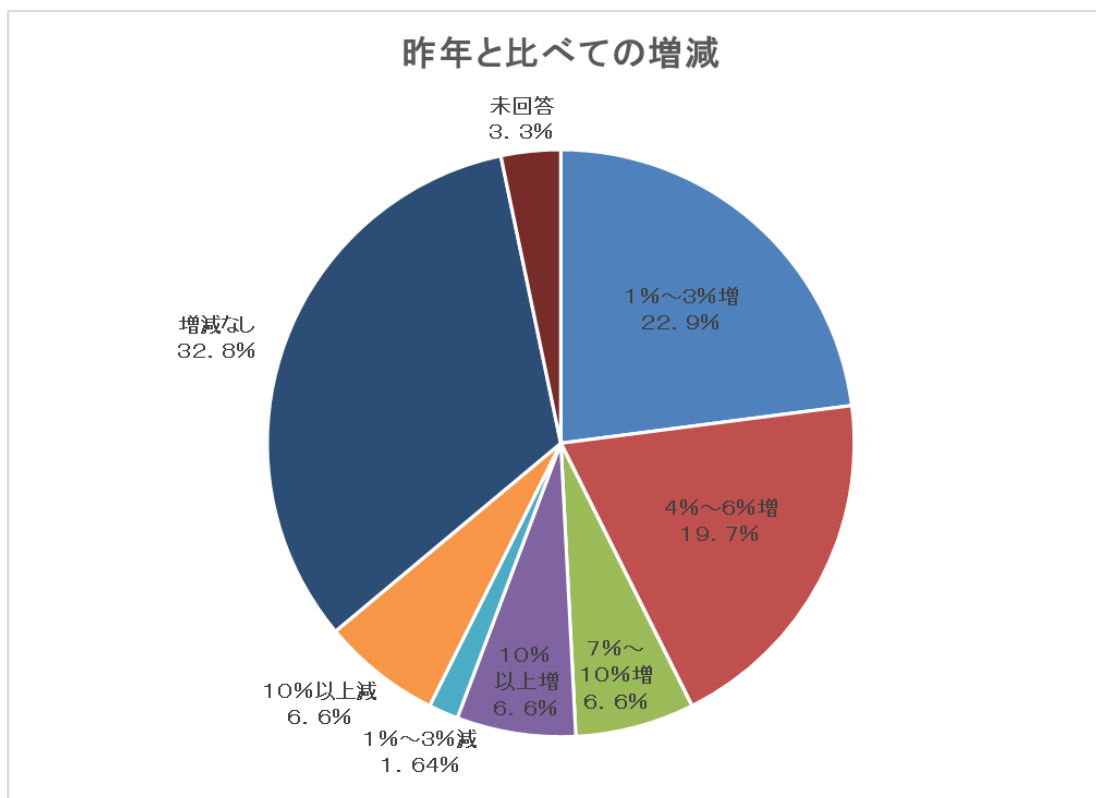


【問2】

「支給予定」を選択した方にお伺いいたします。

昨年の冬期賞与と比べて増減の割合は何%ですか。該当するものを選択してください。

(回答:61社)



【問3】

令和6年4月以降、特別賞与の支給はしましたか。(回答:61社)

